

会 議 録

会 議 の 名 称	平成２６年度 第２回行田市男女共同参画推進審議会
開 催 日 時	平成２６年１０月２７日（月） 開会；午前９時３０分・閉会；午後１１時３８分
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室
出席者（委員） 氏名 ◎会長 ○副会長	◎田代美江子委員、○山崎孝子委員、井上文子委員、山岸泰輔委員、筆 容三委員、西山カツ枝委員、高橋由美委員、矢本政子委員、松島 弘委員、大野久美子委員、松村隆史委員
欠席者（委員） 氏 名	茂木美智代委員、武井知英子委員、吉田 哲委員
事 務 局	岡田安弘（所長）、大澤永江（主査）
会 議 内 容	（１）平成２６年度ＶＩＶＡぎょうだ実施事業報告について （２）行政推進会議の報告について （３）第３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果の評価について （４）今後のスケジュールについて （５）調査及び評価のあり方について （６）その他
会 議 資 料	・ 次第 ・ 平成２６年度ＶＩＶＡぎょうだ実施事業報告 ・ 平成２５年度分第３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果 ・ 審議会等への女性の登用状況（平成２５年度） ・ 平成２６年度男女共同参画推進審議会スケジュール ・ 平成２７年度男女共同参画推進審議会スケジュール（案） ・ 調査票（案） ・ 平成２４年度分ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見 ・ 平成２６年度 女性に対する暴力をなくす運動の集いのチラシ ・ 情報紙ＶＩＶＡ（第３１号）
そ の 他 必 要	傍聴者なし

事 項			
会 確 議 録 の 定	確 定 年 月 日		主 宰 者 記 名 押 印
	平成 2 6 年 月 日		⑩
発 言 者		会議の経過（議題・発言内容・結論等）	
事務局		・ 開会 ・ 会長あいさつ ・ 配布資料の確認 ・ 議長の選出（会長）	
田代会長		・ それでは、議長を務めさせていただく。 ・ 本日の会議は委員の過半数が出席しており会議は成立している。 ・ まず、事務局に確認する。 ・ 本日の会議において非公開とする事項はあるか。	
事務局		・ 非公開とする事項はなく、会議の傍聴希望者もない。 田代会長、議事の進行をよろしく願います。	
議長		・ それでは、議長を務めさせていただく。 議事の（１）、平成２６年度ＶＩＶＡぎょうだ実施事業報告について事務局から説明をお願いします。	
事務局		会議資料、「平成２６年度ＶＩＶＡぎょうだ実施事業報告（平成２６年度第２回審議会資料）」の細部説明）	
議長		・ 事務局から説明があったが、委員から意見など伺いたい。 ・ 審議会で出された意見を反映して、新たな企画も計画されている。 ・ 気付いた点などがあったら、遠慮なく言っていただきたい。 ・ 今説明があったが、少しずつ進展、前進していると感じた。	

山岸委員	・いくつか団体登録があったが、どんな団体なのか。
事務局	・子育て支援の団体やストレッチ体操の団体などである。
山岸委員	・団体登録をすると、使用料の減免があるのか。
事務局	・男女共同参画を推進する団体であれば、登録後、使用料は30%減免となる。
山岸委員	・私の所属している青年会議所も登録について検討してみる。
議長	・講習会などはアンケートを実施しているのか。
事務局	・毎回実施している。
議長	・アンケートを実施しているのであれば、その結果がどういうものであったのかをだしていただくといいと思う。
井上委員	・先週土曜日に実施した年金講座は、予想以上に男性の参加者が多く、嬉しかった。
山崎委員	・親子料理教室に協力したが、子どもに料理に興味を持たす事業はとっても良いことだと思うので、今後も普及していただきたい。
西山委員	・月に1回の事業が多いが、2回にならないか検討していただきたい。
議長	・職員も少ない中でよくやっていると思う。 次に議事の（2）行政推進会議について、事務局から説明をお願いします。
事務局	・10月9日に開催した行田市男女共同参画行政推進会議では、1回目の審議会での審議内容等を報告し、プランの評価D、Eのところ、ブランクになっているところへの再調査の願いをし、審議会委員等の女性登用状況を確認し、意見をいただいたところである。
議長	・事務局から説明があったが、委員から意見など伺いたいが、なにかあるか。なければ、次の（3）第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果の評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	・会議資料「平成25年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況調査結果」に基づき、事務局から細部説明。
議長	・この調査結果、評価に対して審議会として意見を出してい

松村委員	くことになるが、個別に意見を出すのか、全体的な意見として出していくのか、委員の皆様のご意見をうかがいたい。
井上委員	・調査結果を見せていただいて、事務局（男女共同参画推進センター）の評価が厳しい気がする。
議長	・調査結果の10ページ 行田市の男性職員で育児休業制度の利用者がいないが、その理由は、なにか。また、19ページの父親の保育園での1日保育士体験の実施が、持田保育園だけが実施していないのはなぜか。
松村委員	・男性の育児休業は比較的取得しやすい公務員から積極的にとるべきと考える。
議長	他にあるか。
松村委員	・育児休業制度の活用については、人事課は積極的な指導をすべきである。また、マタハラ事例はあるのか。
議長	・あったとしても、泣き寝入りがほとんどであり、表にはでにくいかもしれない。
	プランの計画に対する実績欄に達成できなかった理由を具体的に記入するとか、それについて話し合うシステムができれば理想である。今回の評価、意見についてみなさんから出た意見をまとめると、①男女共同参画プランをもう1回確認をしていただきたいということ、②女性もだが、特に男性の育児休暇制度の積極的活用の推進、③女性の登用についても、40%の目標に向かって段階的にどのように取り組むのかといった計画が必要だということ、④20ページの学校教育課の計画や実績のように、形式的な標記がみられるので、こうした記述について見直すこと（すでに家庭科の男女共修は当然のことであるのに、実績の箇所にも男女共修という標記がある）などを盛り込んでいきたい。 他に意見がありましたら、言っていただきたい。 今後の私たち委員の役割として、各部署が適切な計画を立案しているか、その計画通り実施しているかどうかということをしきりと評価するしくみが必要だと思う。昨年度からの議論になっているが、評価基準や様式について、根本的に変

事務局	える必要があると感じている。今後、この審議会のメンバーが変わっても、意味のある評価ができるようなシステムの構築が必要であると感じている。 次の（４）今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。 ・今後のスケジュールについて、資料に基づき事務局より説明。第３回目の審議会開催は１２月中旬を予定し、意見をまとめていきたいと考えている。２７年度スケジュールについては、ヒアリング等を実施する関係で若干例年より早めに予定をたてたいと考えている。
議長	・今、事務局から説明があったが、ご意見あるか。 次に（５）調査及び評価のあり方について事務局からお願いします。今年度は、この形での評価を受けて、私たちの意見を集約せざるを得ないが、来年度に向けて、評価基準や項目、形式について議論したいと思う。
事務局	・資料に基づき、説明する。調査票に追加した事項として、男女共同参画の視点、具体的に記入していただく欄、今後の進め方について記入する欄を設けた。
議長	・このことについて、なにか、意見があるか。私達審議会の委員も今まで以上に具体的に評価にかかわる方向でいきたいと考えている。
松村委員	・調査票の中に、男女共同参画の視点を入れたのは、非常に良い。
議長	・今後の進め方の項目ですが、意見ありますか。
山崎委員	・今後の進め方の中の、「オ：その他」は、曖昧なので不要ではないか。 ２６年度計画に具体的に記入する方法で良いのではないか。
議長	・調査票（案）については、第３回目の審議会のときまでに再度検討する。他にご意見あるか。

矢本委員	・評価することの難しさを感じている。
井上委員	・ 20 ページの中ほどの太井公民館の事業内容の標記は、本音の声であり、参考になる。
筆 委員	・ 男性に限定される事業の男性料理教室は、疑問がある。簡単に出来るお弁当教室とかを考えたらどうか。
松村委員	・ その事業（男性料理教室）に女性が入ると、女性が料理を作ってしまうため意味がない事業になってしまうので、男性だけでよい。
議長 事務局	・ 次に議事の（６）その他、事務局からなにかあるか。 ・ １１月２３日に実施する女性に対する暴力をなくす運動のつどいに都合がつけば参加をお願いする。 また、３回目の審議会については、１２月の中旬ごろを予定しているので、調整次第また連絡をさせていただく。以上である。
議長	・ 他になければ本日予定の議事はすべて終了した。これをもって議長の任を解かせていただく。
事務局	・ ありがとうございました。 ・ それでは、閉会のことばを副委員長の山崎委員にお願いします。
山崎副委員長	・ 以上をもちまして、本日の会議を終了とする。ありがとうございました。